



教員紹介

リハビリテーション学部

林 浩之 HAYASHI Hiroyuki

職位	准教授
最終学歴	名古屋大学大学院医学系研究科リハビリテーション療法学専攻博士課程（後期課程）修了
職歴	岐阜中央病院，岐阜大学医学部附属病院を経て，現職
学位	博士（リハビリテーション療法学）
資格（免許）、認定	作業療法士
担当科目（学部）	運動学Ⅱ/ 身体障害作業療法学Ⅱ/ 身体障害作業療法学実習/ 作業療法研究法/ 作業療法学研究法演習/ 作業療法学研究法特論
担当科目（大学院）	運動障害学特論Ⅰ/ リハビリテーション健康支援学演習Ⅱ
学生へのメッセージ	星城大学には，第一線で活躍できる人材を育成する環境が整っています．学生および教職員が一体となった星城大学で華やかな学生生活を送ってください。
研究内容	有酸素運動と運動・認知機能 脳卒中リハビリテーション 静脈還流と浮腫の関係性 上肢関節の機能的可動域
研究分野キーワード	浮腫/ 静脈還流/ 上肢/ バイオメカニクス/ 精神心理
URL	https://researchmap.jp/hayashi-h
著書	1) 澤 俊二（編），林 浩之，他．イエローノート専門編 2nd edition，メジカルビュー社，p73-98，p425-428，p666，2013.
論文	1) Noguchi T, Hayashi T, Kubo Y, Tomiyama N, Ochi A, Hayashi H. Living Alone and Depressive Symptoms among Older Adults in the COVID-19 Pandemic: Role of Non-Face-to-Face Social Interactions. J Am Med Dir Assoc. 24: 17-21, 2022. 2) Yorozyua K, Tsubouchi Y, Kubo Y, Asaoka Y, Hayashi H, Fujita T, Hanaoka H. Effect of a multimodal non-pharmacological intervention on older people with dementia: a single-case experimental design study. BMC geriatrics 22(1): 906, 2022. 3) Tomiyama N, Noguchi T, Kubo Y, Hayashi T, Ochi A, Hayashi H. Association between decreased frequency of seeing friends and the onset of

- depressive symptoms among community-dwelling older adults: A longitudinal study. *Mental Health & Prevention* 27: 200243, 2022.
- 4) Kubo Y, Noguchi T, Hayashi T, Tomiyama N, Ochi A, Hayashi H. Eating alone and weight change in community-dwelling older adults during the coronavirus pandemic: a longitudinal study. *Nutrition* 102: 111697, 2022.
 - 5) 林浩之, 窪優太, 林尊弘, 越智亮, 野口泰司, 富山直輝. 地域在住の高齢男性および女性の要介護認定発生リスクを高める健康関連状態. *作業療法*. 41(2):206-213, 2022.
 - 6) Kubo Y, Noguchi T, Hayashi T, Tomiyama N, Ochi A, Hayashi H. Changes in psychosocial factors among community-dwelling older adults before and after Japan's declaration of a state of emergency over coronavirus disease 2019. *Psychogeriatrics*. 22(1):3-10, 2022.
 - 7) Hayashi T, Noguchi T, Kubo Y, Tomiyama N, Ochi A, Hayashi H. Social frailty and depressive symptoms during the COVID-19 pandemic among older adults in Japan: Role of home exercise habits. *Arch Gerontol Geriatr*. 98:104555, 2022.
 - 8) 窪優太, 林浩之, 則竹賢人, 山田和政, 岡田進一. 認知機能障害と抑うつが併存する高齢骨折患者における日常生活動作能力関連因子の検討. *日本認知症予防学会誌*. 11(1):2-7, 2021.
 - 9) Kubo Y, Fujii K, Hayashi T, Tomiyama N, Ochi A, Hayashi H: Sex Differences in Modifiable Fall Risk Factors. *Journal for Nurse Practitioners*, 17(9):1098-1102, 2021.
 - 10) 内屋純, 林浩之, 成田みちる, 野原麻里江, 榊田臣弘, 横井達夫. 手外科疾患患者の患者立脚型評価に関与する身体機能および精神心理機能に関する研究. *日本ハンドセラピー学会誌*. 13(4):180-185, 2021.
 - 11) Noguchi T, Hayashi T, Kubo Y, Tomiyama N, Ochi A, Hayashi H. Association between family caregivers and depressive symptoms among community-dwelling older adults in Japan: A cross-sectional study during the COVID-19 pandemic. *Arch Gerontol Geriatr*. 96:104468, 2021.
 - 12) Noguchi T, Kubo Y, Hayashi T, Tomiyama N, Ochi A, **Hayashi H**. Social Isolation and Self-Reported Cognitive Decline Among Older Adults in Japan: A Longitudinal Study in the COVID-19 Pandemic. *J Am Med Dir Assoc*. 22(7):1352-1356, 2021.
 - 13) Kubo Y, **Hayashi H**, Noritake K, Yamada K, Okada S. Effects of depression on the condition of older inpatients with fracture and preexisting cognitive impairment. *Disabil Rehabil*. 43(14):2019-2023, 2021.
 - 14) **Hayashi H**, Abe M. Grip Exercise of Non-Paretic Hand Can Improve Venous Return in the Paretic Arm in Stroke Patients: An Experimental Study in the Supine and Sitting Positions. *Ann Vasc Dis*. 13(2):170-175, 2020.
 - 15) 佐藤岬, 窪優太, **林浩之**. 新たな自助具の考案により食事動作が自立した不全四肢麻痺を呈した1症例. *総合リハ*. 48(2):169-173, 2020.

ほか 30 件

学会発表

- 1) 加藤彩菜, 林浩之, 大古拓史, 富山直輝: 有酸素運動による亜急性期脳卒中患者1名のBDNFと麻痺側上肢機能の変化: 予備的検証. 第7回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会. 2023. 宮崎.
- 2) 大古拓史, 林浩之, 富山直輝, 加藤彩菜, 桑山直人: 脳卒中患者における4週間のエルゴメータ運動介入前後の安静時BDN濃度と身体機能の経時的变化について. 第7回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会. 2023. 宮崎.
- 3) 林浩之, 加藤彩菜, 大古拓史, 富山直輝: 脳卒中回復期における有酸素運動によるBDNFとirisinの蓄積および認知機能変化 1事例を通じた予備的検証. 第7回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会. 2023. 宮崎.
- 4) 富山直輝, 窪優太, 林浩之, 越智亮, 林尊弘: ご当地フレイル予防体操の身体機能向上への効果に関する検証: パイロットスタディ. 第57回日本作業療法学会. 2023. 沖縄.
- 5) 中村知寛, 小出夏希, 加藤彩菜, 近藤佑香, 前田ほのか, 林浩之, 窪優太: 頸髄損傷者における運動時深部温上昇を抑制するためのアイスラリーー摂取の可能性を探索する: シングルケーススタディ. 第6回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会. 2022. 岡山.
- 6) 加藤彩菜, 森本敬太, 林浩之: 脳卒中後の重度上肢麻痺患者に対する有酸素運動の可能性を探索する: 症例報告 第6回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会. 2022. 岡山.
- 7) 野口泰司, 窪優太, 林尊弘, 富山直輝, 越智亮, 林浩之: 社会的孤立の変化と認知機能低下の関連 - COVID-19 流行期間における縦断研究. 日本老年社会科学会第63回大会. 2021.
- 8) 窪優太, 野口泰司, 林尊弘, 富山直輝, 林浩之: Coronavirus disease 2019 感染症緊急事態宣言が地域在住高齢者の抑うつに与える影響. 第55回日本作業療法学会. 2021.
- 9) 加藤彩菜, 近藤佑香, 今井菜央, 林浩之. 下肢での車椅子駆動による機能と活動向上の可能性: 症例報告. 第58回日本リハビリテーション医学会学術集会. 2021. 京都.
- 10) 水越雅菜実, 窪 優太, **林 浩之**: 脳卒中後の注意障害を呈する患者に対する有酸素運動の実践. 第53回日本作業療法学会. 2019. 福岡.
- 11) **林 浩之**, 安倍基幸, 松岡文三: 脳卒中患者における非麻痺側ハンドグリップ運動は麻痺側上肢の静脈還流を促進する: 座位での検討. 第52回日本作業療法学会. 2018. 名古屋.
- 12) 中澤僚一, 窪優太, **林 浩之**: 高齢骨折患者の抑うつ, アパシーに対する集団料理活動に関する予備的研究. 第52回日本作業療法学会. 2018. 名古屋.
- 13) **林 浩之**, 安倍基幸, 松岡文三: 非麻痺側ハンドグリップ運動は麻痺側上肢の静脈還流を促進する. 第55回日本リハビリテーション医学会学術集会. 2018. 大阪.

	<p>14) 林 浩之, 安倍基幸: 脳卒中片麻痺患者における非麻痺側上肢運動による麻痺側上肢の静脈還流: パイロットスタディ. 第 42 回日本脳卒中学会学術大会. 2017, 大阪.</p> <p>15) 安倍基幸, 林 浩之: 脳卒中患者における血流依存性血管拡張反応の変化. 第 42 回日本脳卒中学会学術大会. 2017, 大阪.</p> <p>16) 林 浩之, 岩井緑, 金田紘佳, 中島大貴, 市川歩: 独居の大腿骨近位部骨折患者の転帰先を分ける FIM 得点に関するパイロットスタディ. 第 49 回日本作業療法学会. 2015, 神戸.</p> <p>ほか 40 件</p>
<p>社会的活動 (公開講座・講演・ 国際交流など)</p>	<p>【日本作業療法士協会関連】</p> <p>1) 学術誌作業療法第一査読者</p> <p>2) 日本作業療法学会演題査読委員</p> <p>【健康講座】</p> <p>1) 美濃加茂市高齢者健康増進活動 (健康関連番組制作や介護予防事業等)</p>
<p>その他</p>	<p>【外部資金獲得】</p> <p>1) 2023-2026 年度 科学研究費補助金 基盤研究 (C) : BDNF 産生に着目した有酸素運動による脳卒中後麻痺と認知機能へのアプローチ: 臨床検証 (代表)</p> <p>2) 2019-2022 年度 科学研究費補助金 若手研究: 麻痺側上肢の浮腫軽減を目指した非麻痺側上肢運動による新規アプローチの臨床実践検証 (代表)</p> <p>3) 2016-2018 年度 科学研究費補助金 若手研究(B): 非麻痺側上肢運動が誘発する麻痺側上肢の静脈還流および静脈還流と浮腫の関係性解明 (代表)</p> <p>4) 2017-2018 年度 日本ハンドセラピー学会研究助成事業: 手外科疾患患者の患者立脚型評価に関する身体機能および精神心理機能に関する研究 (分担)</p>